開成町立開成南小学校　学校だより

みなみの風

【発行日】
令和７年６月６日
【発行者】学校長

≪学校教育目標≫　自ら学び、心豊かに、たくましく生きる子の育成

学校生活における合言葉「生き生きわくわく」と「3つの『あ』」

気温が急に高くなり、30℃を超えたかと思えば、20℃に届かない日が来るなど、体調管理が難しい日々が続きます。健康維持が最も大切なので、子どもたちの体調管理へのご協力をお願いいたします。

過日行われた学校公開には、多くの方々に来校いただき、感謝いたします。今の学級となり2か月が過ぎました。現在は子どもたちと担任、または教科担当と学級や授業を創り上げ、徐々に形になってきているところとなります。学校教育目標はもちろんですが、各学級で定めた学級目標達成に向けて価値付けをしているこの期間は、とても重要になりますので、引き続きご支援のほど、よろしくお願いいたします。

仲間とともに想い出をつくった日光修学旅行

最高学年としてのすてきな言動に感動！【５月 24～25 日】

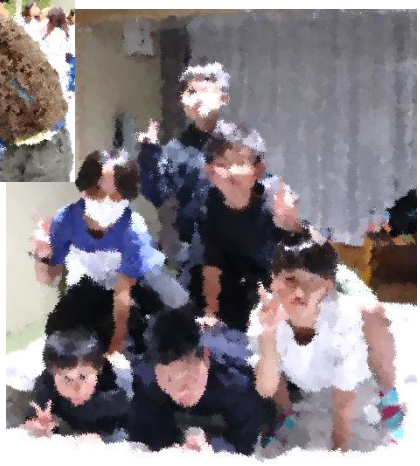
大型連休直後だった昨年よりは若干時間的ゆとりがある中、今年度の修学旅行が無事終了しました。一人一人想い出に残ったことは様々だとは思いますが、私が感じたことを伝えさせていただきます。

まず、仲間同士の会話が非常に温かいと思いました。相手を思いやるのはもちろんのこと、友達同士でも「ありがとう」が自然と発せられていました。また、礼儀正しい行動も数多く、自慢の6年生です。

大きなけがもなく、子どもたちの笑顔が多い修学旅行でした。保護者の皆様には、準備の段階から様々なご支援をいただき感謝申しあげます。ありがとうございました。

全員を掲載することができず、申し訳ありません…

今年の滝は水量が十分



不審者事案に思う
～最悪を想定しておく必要性～

1か月前の5月8日に、驚くようなニュースが飛び込んできました。それは校内に直接学校に関係ない人物の侵入があり、児童にけがはなかったものの、一部教職員がけがを負うという事案です。

このような事案が発生すると、必ず学校現場は、対応マニュアルが機能するかを確認します。例年、夏季休業中に実施していた教職員と警察との連携による不審者対応訓練を、人事異動による新体制のもと速やかに実施する必要性に鑑み、4月3日に実施したところです。今年度も安全教育担当の教員が中心となり、より実効性のある訓練が実施されていることを報告させていただきます。

とはいえ、今回は2名の侵入という報道を聞き、1名の侵入を想定して訓練していたため、改めて見直しを迫られます。

20年以上前、大阪教育大学附属池田小学校での悲しい事案については、その衝撃を今でも忘れられません。それを知らない教職員が増えてきている今だからこそ、学校安全の重要性を再確認していきたいと思います。

自転車の乗り方を学ぶ
～自転車運転講習会【４年】～

急坂がほぼないと思われる開成町において、自転車は有効な移動手段となりえます。5月27日に、4年生を対象とした自転車運転講習会が、松田警察署や交通指導隊、町当局のご協力のもと実施されました。

当日、さすが4年生と感じるほど、真剣な態度で講習を受け、正しい技能を身に付けようとがんばっていました。うれしい限りです。

さて、事故に遭わぬよう…と考える時、どちらかというと被害者になることを考えがちですが、それは相手が自動車だった場合です。相手が歩行者の時は、もちろん「加害者」になります。相手に後遺症が残ったり、また亡くなってしまったりしたときに、その後の自他の人生がどうなるかを想像してほしいと思います。ヘルメットの着用も引き続きお願いします。

朝のあいさつ時に思うこと　～なぜ、「あいさつ」なのか～

出張や急な用事がなければ、私は門の近くで子どもたちを出迎えています。全員を迎えるとなると、ほぼ30分間立ってあいさつをしています。今では気持ちよくあいさつをする子も多くなり、うれしい限りです。

さて、日頃から伝えている「3つの『あ』」には、「あいさつ」は含まれていません。その理由を考えるように、子どもたちにはすでに伝えているところですが、さすがは6年生、全学年の中で、圧倒的にあいさつができています。次は1年生ですが、最近緊張が解けてきたこともあり、今一つと感じる日も・・・。

子どもたちの現状を分類すると、「自分から」「目を見て」「笑顔で」「声を出して」の4つがすべてそろってできている子は3割ぐらいでしょうか。

ここ数日は、あえて私から声を掛けず、「自分から」ができているかを見定めています。漢字が正しく書けたり計算が正確に解けたり、また早く走れたり絵が上手だったりすることも大切ですが、4つの要素が含まれた「あいさつ」ができることのほうが、社会に出て多くのサポートをもらえるのではないでしょうか。「自立」とは、自分ですべてできることではなく、困った時に相談できる人がいるということも含まれます。今一度、あいさつについて、ご家庭で話題にしていただければ幸いです。

子育てアラカルト⑩　～体力は大丈夫？～

「コロナ禍」と言われることが少なくなってきたある時、新聞に「小中学校児童・生徒　コロナで体力低下」という記事が掲載されていました。スポーツ庁の 2021 年度の全国体力テストの結果（小学5年と中学2年の集計）によると、2019 年度（2020 年度はコロナ感染拡大のため中止）と比べ、多くの種目で体力低下が鮮明になったと書かれていました。ここ数年においても、毎年のように「過去最低」という文字を見ることが多くなっています。もちろん、伸びていることが全くないわけではありませんが…。

さて、原因は、様々あるとは思います。新型コロナウイルス感染拡大による行動制限はその一因と思われ、在校生も全員が何らかの影響を受けていることになります。特に、日常的に体を動かす時間が減少したことが最大の要因ではないでしょうか。私としては、休み時間の確保が学校でできる方策の一つと思いますが、安全を第一に考えると一定の制限をかけることも一つの手段と考えてしまいます。しかしながら、「休み時間は子どもが主体的に考え、自由に活動する時間」ととらえ、現在、大きな制限を設けていません。子どもたちがグラウンドで楽しそうに遊ぶ姿を見ると、それだけでほのぼのとします。

とはいえ、もちろん休み時間だけでは足りないのではないかと考えます。体力は、生きていくうえで根幹となる大切なものです。精神面や学力面にも、大きな影響を及ぼすと言われています。体力向上のみならず、生涯にわたり健康でいられるよう、学校としても子どもたちの委員会活動等と連携して体力向上に努めていきたいと思います。ぜひ、ご家庭においても話題にしていただき、何に対してもひたむきにやり遂げる子どもたちを、共に育てていきましょう。